

令和2年第3回燕市議会定例会  
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
9月8日(火)	午前	1	大原 伊一 議員		○	
	午後	2	樋浦 恵美 議員		○	
		3	大岩 勉 議員		○	
		4	長井由喜雄 議員		○	
9日(水)	午前	5	柴山 唯 議員		○	
		6	土田 昇 議員		○	
	午後	7	齋藤 信行 議員	○		
		8	山崎 雅男 議員		○	
		9	渡邊 広宣 議員		○	
10日(木)	午前	10	タナカ・キン 議員		○	
		11	小林 由明 議員		○	
	午後	12	柳川 隆 議員		○	
		13	岡山 秀義 議員		○	
		14	宮路 敏裕 議員		○	

令和2年第3回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	大原 伊一 (一問一答方式)	1. 自然環境・海洋資源を守るための更なるごみ減量について	(1) ごみ減量化の過去と現在の比較と現状の課題について	<p>① ごみの減量化のために分別から始まり、平成14年10月1日よりごみ袋有料化へと進んできた。ごみ袋有料化当初は、ごみ減量に大きな影響を与えたが、その後横ばいから徐々に増加していたと記憶している。 ごみ焼却場の耐用年数を考えると残すところ10年余りであり、新ごみ焼却場建設までに更なる減量化を進め、建設コストの縮減に直結する対策が必要なのではないだろうか。</p> <p>② ごみ収集、並びに焼却の収支状況、最終処分場の収支状況を伺う。</p>
			(2) レジ袋有料化を踏まえて新たな対策について	<p>① 今年7月1日よりレジ袋の有料化が始まったが、家計を圧迫しているとの意見も多く聞く。そこで燕・弥彦総合事務組合管内の商店から理解いただき、レジ袋を指定の10リットル可燃用ゴミ袋に置き換えて販売をしてみたいか。価格的にも現在レジ袋5円が10円になるが、各家庭はゴミ袋を必ず購入することを考えれば、買い物をするときエコバックを忘れても、レジ袋がゴミ袋であれば5円の負担感がなくなる。 また、お店としても「指定レジ袋」は「ごみ袋」とするため利用者が持ち帰ることが見込まれるため、不要な「レジ袋」を店舗のごみ箱等に捨てなくなり、廃棄物処理費用の抑制になることが想定されるのではないかと。レジ袋を指定のゴミ袋へ変更していくごみ減量への取り組みを行っていただきたいかがか。</p>
		2. コロナ禍の影響が収まらない中、大手企業では、新たな働き方が模索されている。これを契機に人口増戦略の再構築について	(1) 新たな生活様式を活用する人口増戦略について	<p>① 大手企業のコロナ禍に対する新たな働き方が模索され、大都市での感染拡大テレワークが浸透していく中で、若者を中心に大都市圏中心の生活様式に対する見直しが進んでいると多くのエコノミストが発言している。 このような中で新婚世帯や、子育て世代の多くが、感染拡大の少ない都内まで2時間以内程度で移動できる地域への移住を考えていると聞いている。本市の人口増戦略として、移住人口の拡大に向けた新たな政策立案が急がれると思うが考えを伺う。</p>
		3. 4～6月期GDP年率27.8%減、戦後最悪。年率換算額41兆円減の485兆円。本市産業への影響について	(1) 本市産業の実態と今後の影響について	<p>① 4～6月期のGDPの大幅な落ち込みが、国内全体の企業マインドが下落し、投資への活力が失われていくという危機感を持たざるを得ない状況と受け止めている。 本市産業の現在の状況と、各企業の今後の見込みについてどのように判断しているのか伺う。</p> <p>② 当然本市としては、企業との連携を密にしていると思うが、今後必要となる対策や雇用維持について伺う。</p> <p>③ 農業分野におけるコロナ禍の影響と対策について伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 登下校時における熱中症対策について	(1) 日傘の使用について	<p>①今年の夏は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の夏休みも短縮され、炎天下の登下校は、子どもたちにとって厳しい状況になります。登下校時に行っている熱中症対策について伺います。</p> <p>②他の自治体では、新型コロナウイルス感染防止と、熱中症予防を兼ねた傘差し登下校を実施しています。日傘を差すことで、自然に人と一定の距離を保つことになり、感染を防ぐ効果と、熱中症対策としても期待できると考えます。登下校時における日傘の使用についての考えを伺います。</p>
		2. がん患者への外見ケア支援について	(1) 医療用補正具購入費用助成について	<p>①毎年9月は、がん征圧月間です。日本人の2人に1人が、一生のうちのがんに罹患すると言われていています。がん治療は、体力の低下や、抗がん剤の副作用、経済的な面など大きな負担を抱えます。脱毛や、乳房切除など、がん治療による見た目の変化のケアには、ウィッグや、胸部補正下着などの医療用補正具が有効であり、社会参加も促進できると考えます。がん患者の精神的・経済的負担を和らげるため、医療用補正具購入費の助成を提案したいが、考えを伺います。</p>
		3. 地域社会が連携した子育て支援について	(1) つばめ子育て応援カード事業について	<p>①令和2年度の新規事業として、妊婦及び、中学生以下の子どもを持つ保護者に対し、協賛企業での割引や特典を受けることができる、つばめ子育て応援カード事業が実施されます。令和3年3月に配布予定としていますが、配布方法など進捗状況について伺います。</p>
3	大岩 勉 (一問一答方式)	1. 燕ささえあいプランについて	(1) 燕市地域福祉計画について	<p>①人と地域をつなぐ交流の場づくりには、どのように取り組まれているのか現状を伺う。</p> <p>②「やさしい心・助け合う心の醸成」とあるが、取り組まれている現状を伺う。</p> <p>③「地域支え合い活動の推進」と計画されているが、取り組まれている現状を伺う。</p> <p>④「市民の健康づくりの推進」と計画されているが、取り組まれている現状を伺う。</p>
			(2) ひとり暮らしの高齢者に対する安全確保課題について	<p>①ひとり暮らしの高齢者に対する見守り体制の取り組みと現状を伺う。</p> <p>②燕市内で今夏の高温猛暑による熱中症による救急搬送は増えたのか、救急搬送の高齢者数を伺う。</p> <p>③成年後見制度の普及・促進支援制度を法律面や生活面で支援検討されているのか伺う。</p>
		2. 小中学校の学校教育の問題点について	(1) 小中学校の学校教育の問題点について	<p>①小学生のランドセルが重すぎると言われている。低学年は、不必要の教科書などを学校に置いて帰る「置き勉」を安全面からも許可したらどうか見解を伺う。</p> <p>②県内では新型コロナウイルス禍で、成果披露の場を失った中学3年生に有終を飾る舞台にと、部活動引退式などを計画実行されたと聞くが、市内5中学校での取り組み状況を伺う。</p> <p>③各部において大会やコンクールの中止、各種行事が中止となっている。ひた向きに取り組んできた2年半の努力や、成長を発表する「有終を飾る舞台」を作るなど、思い出作りの努力はされているのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 汚水処理環境の促進について	(1) 汚水処理の現状と課題について	① 燕市における汚水処理の現状と課題について、また整備の遅れている汚水処理人口の拡大についての基本的考えを伺う。
		(2) 下水道整備区域内外における合併浄化槽設置補助と転換促進について	① 下水道整備区域における接続費用と合併浄化槽設置費用について伺う。 ② 下水道整備区域における下水道延伸と合併浄化槽設置の費用対効果について伺う。 ③ 「燕市循環型社会形成推進地域計画」と計画区域外における合併浄化槽の転換促進補助、新規設置に対する補助の考えについて伺う。	
		2. 柏崎刈羽原発と市民生活について	(1) 燕市地域防災計画(原子力災害対策)と原子力災害に備えた燕市避難計画(Ver. 1)について	① 平成28年度に示された「燕市地域防災計画(原子力災害対策)」について、記された計画内容の確認と進捗について伺う。 ② 平成28年5月に示された「原子力災害に備えた燕市避難計画(Ver. 1)」について、内容の確認と拡充について伺う。
		(2) 30km圏避難準備区域(U P Z)内自治体としての事前了解権についての市長の見解について	① 「事前了解権」についての市長の考えについて伺う。	
5	柴山唯(一問一答方式)	1. 燕市の戦略的広報について	(1) 市民への情報発信としてのSNS等の活用推進について	① 現在、日本国内でスマホアプリ「LINE(ライン)」の利用者は8,400万人(2020年7月時点)である。しかも、10代の若い人から70代の高齢者まで幅広く利用している。燕市では、「Twitter(ツイッター)」などを使った情報発信をしているが、今後新たに「LINE(ライン)」を利用することを検討しているという。以前に問い合わせした段階では認識はしていたが、活用の具体的検討はしていないという回答であった。活用に乗り出す理由を伺う。 ② 「LINE(ライン)」の自治体活用事例を確認すると様々な例がでてくるが、燕市ではどのように市民へ情報発信し、具体的にどのような機能を使っていくのか、今後の「LINE(ライン)」を活用した市民への情報伝達の方針を伺う。 ③ 県内のいくつかの自治体では、既に「LINE Pay(ライン・ペイ)」での市税等の納付を導入しているが、今後そのようなスマホ決済も検討しているのか。
		2. 切れ目ない子育て支援について	(1) 今の時代に即した産前産後ケアについて	① ウィズコロナの時代に必要な産前産後ケアとはどのようなものかと考えるか、市長の考えを伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	柴山 唯 (一問一答方式)	2. 切れ目ない子育て支援について	(1)今の時代に即した産前産後ケアについて	<p>②燕市の産婦人科医院が、今年1月末をもって分娩を行わなくなった。このことは地域の産科医療体制にとって非常に深刻な問題であり、子育て環境というものについて燕市だけではなく、より広域に考えていかなければならないところにきている。産前産後ケアは、例えば弥彦村などとともに検討すべき課題と考えるがいかがか。</p> <p>③現在、燕市の産後ケア事業では、宿泊型とデイサービス型を医療機関に委託して行っているが、医療機関以外にも日中に頼れる場所を作ること、さらに産後支援につながると考えられるがいかがか。</p>
6	土田 昇 (一問一答方式)	1. 農業問題	(1)コロナ禍による米価下落の現状と対応について	<p>①米の販売については、新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言の発令で、学校の休校や、飲食店、宿泊施設などでの営業自粛で影響が広がり、米の販売の出荷先の売り上げが減少して深刻な状況になっている。</p> <p>2019年産米の「過剰」な在庫が原因となっており、現在、政府が進めている今年度産の主食用米の飼料用米等への転換だけでは、米価の下落は阻止できないと思う。備蓄米の追加買い入れによって、19年産米の市場から隔離対策と保管経費の補助などの対策を、県、市町村で国に対して強く求めていくべきと思うが見解を伺う。</p> <p>②現在の農業従事者の高齢化や、農業経営の大規模化、農地の集積など、いろいろな問題が多発している現状がある。このような状況が続くと、地域経済が今以上に厳しい状況になると思われるが、現場の農業問題でどのように感じているか伺う。</p> <p>③JA全農新潟は、今年度産米の仮渡金について、各単協に次のように示した。(60キロ単位で)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般コシ14,000円(前年度比-900円)</li> <li>・魚沼コシ16,500円</li> <li>・岩船コシ14,400円</li> <li>・いぶき11,700円(前年度比-800円)</li> <li>・新之助15,200円(前年度比-1,800円)</li> </ul> <p>燕市の一般コシ、こしいぶき、新之助の作付面積について伺う。</p> <p>④国はコロナ禍で減収した事業者や、農家などに対して、個人事業者に最大100万円(法人は最大200万円)の「持続化給付金」の制度を創設している。コロナ禍から農業を守るためにも、JAと協力しながら農家の方々に周知していくべきと考えるが、今までどのように対応してきたのか、また、今後どのように対応していくのか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	土田 昇 (一問一答方式)	2. 大規模風力発電について	(1) 柏崎、出雲崎の発電計画について	<p>① 柏崎、出雲崎地域に大規模な風力発電の建設計画が新聞報道(7月4日、7月18日 新潟日報)されたが、実現すれば総出力9万5千キロワットで、国内2番目の規模になると見込まれ、一般家庭約3万8千世帯が1年間に消費する電力に相当するとしている。</p> <p>今後、燕市としても検討していくべきと思うが市長の見解について伺う。</p> <p>② 再生可能エネルギーの普及で、原発再稼働する理由はなくなっていくと思うが認識について伺う。</p>
		3. 県立吉田病院の現地改築は早急に実現へ	(1) 公設民営が報道されているが	<p>① 県の病院局は、県立吉田病院について公設民営など民間活力を生かした運営を提案し、県内で病院を運営する72法人に対して、病院運営に対する意向調査を行ったと報道されている。その結果、県立吉田病院には6法人が興味を示したとされているが、公設民営に関する問題についての市長の基本的な認識を伺う。</p>
7	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 小中学校の教育課題について	(1) 新型コロナウイルス感染症対応について	<p>① 他県の高校部活動で、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。これを受け、各学校では部活動での感染症予防についてどのように対応しているのか伺います。</p> <p>② 秋には各校で、修学旅行や自然教室等で宿泊を伴う行事が予定されていると聞いている。今般の感染状況から、実施については保護者、児童生徒の中には不安に思う人も出ていると思われる。実施の可否判断はどのように行われたのか伺います。</p> <p>③ 過日、あるうがい薬の買い占めが全国各地で起きた。これは、人々がマスクやSNSで流される情報を鵜呑みにし、行動した結果であると考えられる。これからの時代を生きる子供たちには、周りにある情報を鵜呑みにせず、正しく理解し判断する力が求められている。コロナウイルス感染症に関して、正しく理解、判断し、行動できるようにするために、どのような取り組みが重要だと考えるか伺います。</p> <p>④ 感染収束の兆しが見られない状況である中、今後は身近な人に感染が確認されることもあり得る。先日の市長のメッセージにもあったように、感染した人や、その家族に対するいわれなき差別、誹謗中傷は決してあってはならないと考える。とりわけ小中学校における児童生徒への指導は大変重要である。</p> <p>現在、小中学校では、どのような指導をしているのか伺います。また、小中学校の児童生徒に、今後感染が確認された場合は、どのように対応するのか伺います。</p>
			(2) 教職員の働き方改革について	<p>① 教育委員会では3月に、「燕市立小学校・中学校における教員の勤務時間の上限に関する方針」を定め、保護者にパンフレットを配布し、主な取り組みを周知しているが、各学校の取り組みの中で効果をあげている事例について伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 小中学校の教育課題について	(2) 教職員の働き方改革について	②今年度、燕市小中学校に着任した初任者は、初めての勤務に戸惑いながらも燕市の教育を担う一人としてその力を磨いていることと思う。教員としてのあり方や、教育技術を学ぶには、学校での先輩教員の指導・支援が欠かせない。現在の新採用教員の状況と、その指導・支援について伺います。
			(3) 小学校5・6年生の教科担任制について	①文部科学省は8月20日、中教審の特別部会を開き、2022年度を目途に小学5・6年生で本格導入を目指す「教科担任制」について、優先して導入すべき教科として、既に専科教員が教えることが広まっている理科に加え、英語と算数を例示した中間まとめの骨子案を示した。燕市では、2022年度に向けてどのような対応をしていくのか、また、市の独自性を考えているのか伺います。
		2. 下水道整備について	(1) 下水道の方向性について	①現在、燕市には2つの下水道があるが、旧燕地区、旧吉田・分水地区の下水道の今後の方向性について、下水道の現在の在り方について、市としてどのように考えているのか伺います。
			(2) 燕市合併処理浄化槽転換促進補助事業について	①合併浄化槽は、下水道整備を実施しない区域での対応であるが、周知はどのように行ったのか。また、周知は行き届いていたのか対応について伺います。 ②下水道整備など、今後整備した後の接続率など課題があるのか伺います。
8	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 国道116号吉田バイパス早期事業整備と供用開始に向けての見通しについて	(1) 吉田バイパス早期事業整備に向けての流れについて	①国道116号吉田バイパスの新規事業化に向けた道路づくりの流れと、燕市の今日、そして将来に向けての地域経済の発展に大きな効果をもたらすと思われるが、まちづくりにとって非常に重要な吉田バイパスの位置付けの中において、早期事業整備、供用開始に向けた市としての動向を伺う。 ②国道116号吉田バイパス事業は、燕市熊森から新潟市西蒲区高橋間で、延長約11.5kmの4車線の現道拡幅、及び、2車線バイパス整備を計画。 吉田バイパス事業は、燕市吉田西太田から吉田鴻巣間の慢性的な渋滞解消や、事故多発区間を迂回するための事業。 燕市熊森地内の新橋交差点を起点に、現道1.7km拡幅。粟生津地内の西大通り付近からバイパス区間7.9kmで、新潟市西蒲区津雲田の市の境界で、再び現道拡幅区間1.9km。国は、今年度5,000万円の予算で現地測量予定であるが、動向と具体的内容を伺う。 ③吉田バイパス区間では、走行安全性低下の懸念があり、市役所付近から広域農道6号との付加追い越し車線を設置し、4車線の現道拡幅部は2.5mの両側歩道を含む幅員25.5mで整備予定。 バイパス部は盛土構造の2車線で幅員14.25mの計画。平面2カ所、立体交差5カ所で交差計画であるが、具体的内容を伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
8	山崎 雅男 (一問一答方式)	2. 多職種連携による市内における重症心身障がい児・者と家族への支援について	(1)市内における重症心身障がい児・者への支援の現状について	<p>①当たり前前に学校へ通いたいが、定期受診やリハビリの通院が欠かせない。受診やリハビリのための通院の問題に対して、市としての対応について伺う。</p> <p>②学校への登下校時の送迎や、学校、職場への送迎福祉サービスの問題・対応について伺う。</p> <p>③子どもの状態にあった居場所、医療的ケア児等を対象にした療育専門事業所、入浴サービスの問題・課題について伺う。</p> <p>④社会生活の保障、社会参加等、これからの将来に向けての生活不安が保護者、家族は大きい、問題・課題について伺う。</p> <p>⑤以前にも取り上げさせていただいた、重症心身障がい児・者の利用できる施設が、新潟市・長岡市の2カ所のみと、小児在宅医療機器に依存して生活する超重症心身障がい児・者の増加に対しての認識と、市の動向について伺う。</p> <p>⑥医療的ケア児とその保護者、家族が地域で安心して生活できる支援と、事業展開の必要性和意義について見解を伺う。</p> <p>⑦県立吉田病院は吉田特別支援学校と一つの建物で繋がっている。教育と医療で連携して支援が必要な子どもを支えてきた経緯があり、今日通わせている保護者、家族にとって心強く感じ、感謝の声がある。 これまでの連携の強みを生かして、それぞれの保護者、家族が抱える問題にきめ細やかに対応ができるように、医療と福祉を一体化させた療育専門施設、地域支援の充実を図ることの事業展開の必要性和意義についての見解を伺う。</p>
		3. 高次脳機能障害者に対して適切な診断、治療により新しい生活への適応について	(1)制度の狭間にある障がいの医療と福祉の連携について	<p>①高次脳機能障害者に対して適切な診断、治療により、新しい生活への適応につなげていくための現状把握と認識、そして支援策について伺う。</p> <p>②高次脳機能障害の障がい者の介護ニーズを判定するための指標として、現行の要支援・要介護認定基準はどのように判定されるのか伺う。</p> <p>③40歳以上の障がい者も原則として介護保険の被保険者となり、要支援、又は要介護の状態となったとき、保険者の認定を受け、保険給付として介護サービスを利用することについて伺う。</p>



発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 新型コロナウイルスの対応について	①国・県の新型コロナウイルス対応の評価を伺う。 ②新しい生活様式が求められているが、市長が考える燕市における行動計画(実践)を伺う。 ③「フェニックス11」プラス5の実績から問題点と評価を伺う。
		2. 市内企業の現況と今後の見通しについて	(1) 市内企業の現況と今後の見通しについて	①大企業中心に19年度3月期、及び20年度第一四半期決算報告は大変厳しい結果である。市内企業の業態・業種別の業績・経営状況を把握しているか伺う。 ②市内企業の事業資金調達状況について伺う。 ③雇用の需給状況、及び解雇、雇止め情報を掌握しているか伺う。 ④20年度の税収見通しと確保策について伺う。
		3. コロナ禍における学校教育について	(1) コロナ禍における学校教育について	①学校の一斉休校と年間行事の大幅変更・中止が児童・生徒に与える影響と対応策について伺う。 ②「Society5.0(ソサエティー5.0)時代」における燕市の「ICT教育」の実績と今後の取り組みについて伺う。 ③変則的授業や学校生活、コロナ禍における学力格差の認識について伺う。 ④部活動、社会教育活動の状況について伺う。
10	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 柏崎刈羽原発再稼働について	(1) 市長の考えについて	①新潟日報社は、5～6月にかけて県内全30市町村長を対象に柏崎刈羽原発の再稼働に当たり、東京電力が同意を得るべき「地元」の定義と再稼働を認めるか、のアンケート調査を実施した。 東京電力が再稼働に同意を得るべき「地元」の範囲について、鈴木市長は選べないと回答している。「適切な選択肢がない」として回答を選ばなかったということだが、市長の考えを伺う。
		2. 中学生とスマホについて	(1) スマホの学校への持ち込みについて	①文科省はこのほど、中学校においてスマホの学校への持ち込みについて、これまでは「教育活動に必要な物として」「原則禁止」していたものを容認すると方針転換した。これを受け、燕市ではどのような対応をしていくのか伺う。
		3. 道の駅「国上」について	(1) 集客のためのアイデアについて	①県内各地で新しい道の駅がオープンするという話が聞こえてくる。新しい工夫もされていると思う。そんな中、道の駅「国上」は集客のための話題づくりを考えてきたのか伺う。 ②今年7月に「ミシュランガイド新潟2020特別版」が発行され、その中のミシュランプレート店として、燕市から6店が選ばれた。今回選ばれた店の中で、背脂ラーメンを提供している「杭州飯店」、「酒麵亭 潤本店」から「国上」の食堂に出店してもらえないか交渉してみたらどうだろうか。そうなれば、道の駅「国上」はあつという間に有名になり、多くの集客につながると思うが伺う。
		4. 庁舎内のエレベーターの利用について	(1) 庁舎内のエレベーターの利用について	①庁舎内のエレベーターを職員が利用する姿をほとんど見ないが、何か理由があるのか伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	タナカ・キン (一問一答方式)	5. 市内の花壇について	(1) 花壇の管理について	① 市内を車で移動していると、きれいな花が植えられている花壇を見かけることがある。大きな花壇は特に手入れが大変だと思うが、どこが管理しているのか伺う。 ② 大きな花壇の中には、水道が引いてある所と引いていないところがある。この理由について伺う。
11	小林 由明 (一問一答方式)	1. コンパクトシティについて	(1) 立地適正化計画「まちなか居住の促進」について	① 近年、市内では新しい住宅地の造成が行われ続けているが、居住誘導区域内、都市機能誘導区域内、そしてそれ以外の地域での住宅新設の状況はどのようになっているか。 ② 商店街や駅が存在する市街地中心部の空洞化と、空き地空き家、管理不全不動産の状況はどのようになっているか。 ③ コンパクト都市における、まちなか居住促進の必要性和、商店街や駅が存在する市街地中心部のあるべき姿について、改めて市の考えを伺いたい。 ④ 商店街や駅などが存在する市街地中心部への定住者増や、生活を支える商業施設誘導の課題と、今後の方策を伺いたい。
			(2) 都市機能誘導区域内の開発について	① 都市機能誘導区域内での公共施設用地や、住宅用地、民間事業用地などに供する、ある程度の規模の土地の確保は必要であると考えている。 所有不動産の利活用に対する住民の意向や、地域事情の調査を通じて面的開発の可能性を探り、デベロッパーなど民間事業者の事業意欲を喚起するスキームを作ることが必要な時節を迎えていると思うが、市の考えを伺いたい。
		2. 安全安心なまちの実現について	(1) 市民が取り組む防犯力の向上と支援について	① 安全安心なまちの実現のために、市民主体の地域防犯力向上の取り組みの必要性をどのように考えているか。 ② 防犯パトロールを担う「青パト」の周知、普及、活動支援を検討してはいかがか。
12	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 産業振興行政について	(1) 基盤技術人材育成支援事業のこと	① 技術指導費と機械装置費の申請状況について伺う。 ② 「企業が承継したい技術の持ち主を自ら探し依頼する」という仕組みだが、講師を見つけることには問題はないのか伺う。 ③ 長い間かかって修得した技術を他人に教えるというのは容易なことではないと思われるが、その点はどのように考えているのか伺う。 ④ 3年間という指導期間は継続でなくてもよいのか伺う。 ⑤ どの時点で市に申請すればよいのか伺う。 ⑥ 今年度予算は500万で、2社分ということで1社250万。 1. 講師代の上限1回あたり1万6千円(補助率10分の10) 2. 機械装置費補助(初年度)200万(補助率2分の1) 上記1+2の上限250万(初年度)と予算のポイントに書いてあるが、2には使わなくてすべて1に使ってもよいのか伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
12	柳川 隆 (一問一 答方式)	2. 教育委員会行政について	(1)文化財のこと	<p>①市指定の文化財はいくつあるのか伺う。</p> <p>②文化財調査審議会の委員は何名で、その任期と主な活動内容について伺う。</p> <p>③指定文化財関係の年間の予算はいくらか伺う。</p> <p>④文化財保護法と市の指定の文化財との関係について伺う。</p> <p>⑤まちづくりにおける指定文化財の関係について伺う。</p> <p>⑥国の登録文化財に吉田の今井家の住宅が平成26年12月19日に指定されているが、それ以前と何がどう変わったのか伺う。</p>
13	岡山 秀義 (一問一 答方式)	1. 学校教育について	(1) G I G A スクール構想について	<p>①国の補助金を活用し、「Society5.0 (ソサエティ5.0) 時代」に向けて、高速大容量の通信ネットワーク環境の構築に向けた校内LAN・PC端末用電源キャビネット整備の進捗状況についてお伺いします。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症による全国緊急事態宣言発令を受け、オンライン授業の取り組みが度々紹介されました。臨時休校により、子どもの発達期における学習機会の損失は、子どもたちの学力に大きな悪影響を与えかねないと考えます。 本市では「G Suite for Education (ジー スイート フォア エデュケーション)」を活用してきましたが、成果と課題についてお伺いします。</p> <p>③児童一人ひとりがそれぞれ端末を持ち、授業や家庭学習などに活用できる環境を実現するため、4月、7月に家庭のインターネット環境に関するアンケート調査を行いました。結果と課題に向けた今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症長期化・第2波による臨時休校に備え、オンライン授業を実現するためには学習用コンピューターの早期導入が望まれます。本市6,230台の導入時期についてお伺いします。</p>
			(2) 教員 ICT 活用指導について	<p>① G I G A スクール構想では、教育の ICT 化を全国で格差なく実現することが目標として掲げられています。しかし、先生の中には、そもそも IT 機器に苦手意識を持っている方も多いと思われまます。 クローズドブックの初歩的な活用方法など、丁寧なレクチャーが必要と考えますが、先生方をどのようにサポートされていくのかお伺いします。</p>
		2. 長善館について	(1) 長善館史料館と長善館について	<p>①「<sup>えつほくのこうと</sup>越北之鴻都」越後の学問の中心である私塾「長善館」。本市では長善の心・学びの心を大切に伝えるため、小中学校において教育プログラム「長善タイム」、未来のリーダー育成プログラム「長善館学習塾」、社会人向けの「長善友の会」など、長善館の教えを燕市教育の柱として取り組んでいます。 先般、元NHKアナウンサーのナビゲーションによる「YouTube (ユーチューブ)」動画も配信され、多くの方の来館が期待されます。近年の長善館史料館の来館人数についてお伺いします。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	岡山秀義(一問一答方式)	2. 長善館について	(1) 長善館史料館と長善館について	<p>②長善館史料館の駐車場へは道路が狭く、観光バスのような大型バスは進入できません。第二駐車場もありますが、高齢者には距離があり改善していかねばならない問題と捉えます。今後、大型バスでも来館していただけるための対策をお伺いします。</p> <p>③今後、長善館を更に広く周知を図るために、どのような取り組みを進めていくのかお伺いします。</p>
		3. 公共施設について	(1) 体育館冷房設備について	<p>①近年、異常気象による温暖化、地震、水害などの避難所として体育館の重要度が高まってきています。また、各種大会や生涯スポーツの場として、毎日多くの市民が体育館を利用しています。</p> <p>しかし、当市では冷房設備の整った体育館が一つもないのが現状です。夏場の避難所での熱中症対策も考慮して冷房設備が必要と考えますが、どのような方向性をもって対策していくのかお伺いします。</p>
14	宮路敏裕(一問一答方式)	1. 新型コロナ感染から市民の命と暮らしを守る施策について	(1) PCR等検査の拡充について	<p>①新型コロナウイルス感染が急拡大となり、本県では「コロナ注意報」が発令された。感染を抑えるには、PCR等の検査数を抜本的に増やし、無症状でも陽性の感染者を把握し、保護する以外方策はないということが専門家の指摘である。厚労省はこの間、PCRなどの行政検査対象拡大の方針を地方自治体に示しているが、新潟県のPCR等検査方針について、本市として現況把握していること、また県と市で協力していくことがあるのか伺う。</p> <p>②PCR検査の積極的活用によって感染抑止を実現するために、医療や介護、福祉施設、学校や保育職場で働く人には、社会の継続上、また、安心して職務遂行できるように、最優先で検査を実施することが重要だと思いが認識を伺う。</p>
			(2) 経済的支援施策について	<p>①就学援助制度について、通常の申請に加え、新型コロナの影響で今年に入り収入が減少した小中学生の世帯にも対象を広げ、収入減少の分かる書類を添付し申請を受け付けているが、現況について伺う。</p> <p>②国保税、及び介護保険料について、同じく収入が30%以上減少見込みの世帯等に対し、収入減少書類を添付して申請する減免制度について、申請の現況について伺う。</p>
			(3) 児童・生徒が安心して学び過ごせる学校のために	<p>①「新しい生活様式」の提言を踏まえ、学校では「分散登校・授業」が実施された。全国では、その経験から子どもに目がより行き届き、子どもの関心や興味に沿ったゆとりのある授業が実現したという事例を聞くが、本市の学校現場での経験はどうか伺う。</p> <p>②教員が消毒作業に追われるということはないか伺う。</p>
			(4) 市内在住外国人の持つ不安に応える施策について	<p>①外国人交流会の計画があるが、外国人同士の情報共有や、地域住民との交流の場であると同時に、新型コロナ禍のもと、外国人の持つ不安感や対応について理解する場となるのではないかと思いが認識を伺う。</p>